20秒間 咀嚼 ▶▶ 6秒で 測定

数値で診る!
咀嚼能力を簡単測定!

グルコセンサー GS-II

GS-II センサーチップ

グルコラム
(グルコース含有グミ)

咀嚼能力検査装置 NEW 健保適用

GLUCO SENSOR GS-II

グルコセンサー GS-II

有床義歯咀嚼機能検査を手軽に、スピーディーに

20秒間
咀嚼運動路測定

咀嚼のパターン・安定性を診る!

健保適用 NEW 歯科用下顎運動測定器

Motion VISI TRAINER V-1

モーションビジトレーナー V-1 有床義歯咀嚼機能検査システム

「有床義歯咀嚼機能検査」が新設

有床義歯装着時の下顎運動および咀嚼能力を咀嚼能力検査装置と歯科用下顎運動測定器を用い測定することにより、有床義歯装着による咀嚼機能の回復の程度を客観的かつ総合的に評価し、有床義歯の調整、指導及び管理を効果的に行うことが歯科診療報酬に新設されました。有床義歯を新製する場合において、新製有床義歯の装着前及び装着後のそれぞれについて実施することで保険算定が可能です。

有床義歯咀嚼機能検査(1口腔につき)
1 下顎運動測定と咀嚼能力測定を併せて行う場合(1回につき)480点
2 上記1を算定した患者に対して、咀嚼能力測定のみを行う場合(1回につき)100点
(厚生労働省ホームページ:中央社会保険医療協議会 総会(第328回)議事次第資料より一部抜粋)

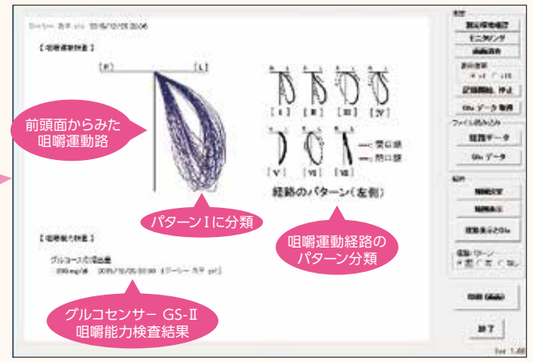
有床義歯咀嚼機能検査は、次のいずれかに該当する場合に限り算定する。
イ 総義歯を新たに装着した場合又は総義歯を装着している場合
ロ 9歯以上の局部義歯を装着し、かつ、当該局部義歯以外は臼歯部で垂直的咬合関係を有しない場合
(厚生労働省ホームページ:平成28年度診療報酬改定関係資料_III-1 通知その03より一部抜粋改変)
※別途地方厚生局長等への施設基準届出が必要

「有床義歯咀嚼機能検査」が保険収載に

「有床義歯咀嚼機能検査」システム

有床義歯装着による咀嚼機能の回復の程度を客観的かつ総合的に評価し、有床義歯の調整、指導及び管理を効果的に行うことができます。咀嚼能力検査装置「グルコセンサー GS-Ⅱ」の計測値をUSBで接続したPCに取り込み、歯科用下顎運動測定器「モーションビジトレーナー V-1 有床義歯咀嚼機能検査システム」の検査結果との一括表示・データ保存を可能にします。

■ 咀嚼運動検査(モーションビジトレーナー V-1 有床義歯咀嚼機能検査システム)と咀嚼能力検査(グルコセンサー GS-Ⅱ)の結果をモニタで一括表示



「モーションビジトレーナー V-1 有床義歯咀嚼機能検査システム」は、保険算定項目「有床義歯咀嚼機能検査」を簡便かつ有効的に実施することを目的とした、簡易型の光学式歯科用下顎運動測定器です。グルコース分析装置「グルコセンサー GS-Ⅱ」のデータ管理との連携にも優れたシステムです。

咀嚼能力検査装置

GLUCO SENSOR GS-Ⅱ

グルコセンサー GS-Ⅱ

USB接続で簡単にデータ取り込み

グルコース含有グミ「グルコラム」を20秒間咀嚼後、吐き出したろ液をセンサーチップに点着することにより、約6秒間で自動的にグルコース濃度が計測され表示、咀嚼能力を簡単に測定し数値化します。患者さんがどれくらい物を噛めているかを、患者さん・歯科スタッフで共有し、診療に役立てていただけます。

20秒間 咀嚼 ▶▶ 6秒で 測定

検査の手順

1.

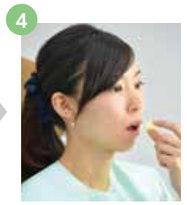
計量カップ内側の10の線まで水を入れ、水を容器(コップ等)に移す

2.

ディスポーザブルろ過用メッシュ(ろ過メッシュ)を組み立てる

3.

グルコラム(グルコース含有グミ)を袋から取り出す

4. 
グルコラムを口に含み、主咀嚼側で咀嚼する(唾液を呑み込まない)

5.

20秒間咀嚼する

6.
コップの水を口に含み、ろ過メッシュをコップに乗せる

7.
ろ過メッシュの上からグルコラムを水と一緒に軽く吐き出す(すべてを吐き出さない)

8.
コップの上からろ過メッシュをすぐに外す

9.

「GS-Ⅱ センサーチップ」を矢印の方向に向かって「グルコセンサー GS-Ⅱ」に挿入する

10.
コップの中のろ液をディスポーザブル採取用ブラシ(採取ブラシ)で採取する

11.
採取用ブラシを「GS-Ⅱ センサーチップ」先端に点着し、ろ液を充分に吸わせる

12.

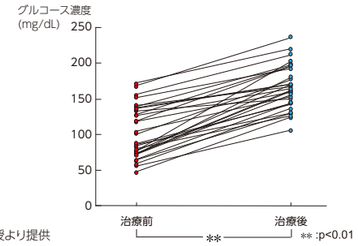
計測が開始され、6秒後に計測値が表示される

試験例

■ 義歯患者の治療前後の咀嚼能力 [1)]

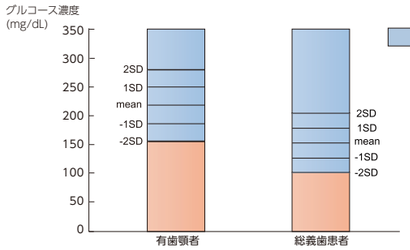
治療前 :73 mg/dL

治療後 :158 mg/dL



1) 日本歯科大学 志賀教授より提供

■ 検査結果の目やす [1)]



※mean=平均値
※SD=標準偏差

-1SD～+1SDの範囲に68%、-2SD～+2SDの範囲に95%の方が含まれ、-2SD以上の検査数値を健常範囲としています。

歯科用下顎運動測定器

Motion VISI TRAINER V-1

モーションビジトレーナー V-1 有床義歯咀嚼機能検査システム

シンプルでコンパクトな設計のため、煩雑な操作は不要。患者さんへの負担も少なく、チェアサイドでも簡便に咀嚼運動を測定することができます。下顎切歯点またはオトガイ部に付けたLED光を、2台のセンサーで3次元記録。専用ソフトウェアで前頭面からみた咀嚼運動路を測定・表示します。

20秒間 咀嚼運動路 測定

装着から測定 約5分

検査の手順

1.

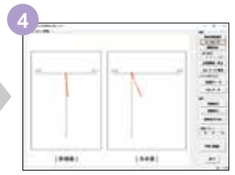
オトガイ皮膚面に皮膚用ターゲットLEDを専用のシールで貼り装着します。
※軽量で装着も簡単なため、患者さんへの負担も軽減します。
※前歯装着タイプの歯牙用ターゲットLEDもご用意しています。

2.

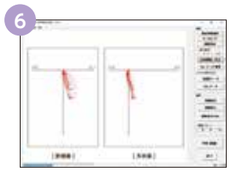
被験者の頭部に、カメラとLEDが一直線となるようにヘッドマウントカメラを装着。カメラとLEDとの距離を約15cmにします。

3.

「モーションビジトレーナー V-1 有床義歯咀嚼機能検査システム」のソフトウェアを起動します。

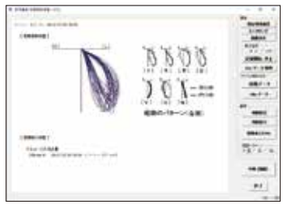
4. 
測定環境を確認し、その後ターゲットLEDを点灯させ、咀嚼運動の動きがリアルタイムで表示することを実際に確認します。

5.
専用ソフトウェア上の「記録開始・停止」をクリックし、20秒間咀嚼運動を行い記録を開始します。
※ターゲットLED光は赤外線のため、点灯状態を目で確認することはできません。

6. 
測定後データを保存します。

7.
咀嚼運動路と咀嚼側に応じた7つのパターン分類を比較・観察することができます。

「グルコセンサー GS-Ⅱ」の値を専用データとしてUSB接続で読み込むことができます。

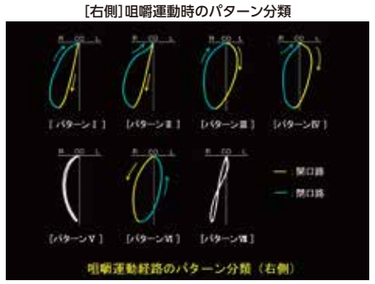


咀嚼運動検査と咀嚼能力検査のデータを一括管理することができ、画面を印刷することもできます。

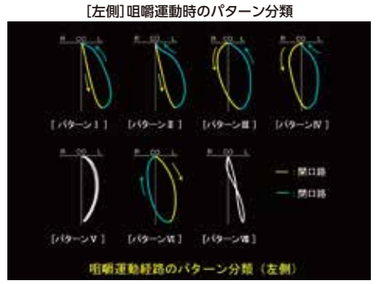
■ 咀嚼運動路のパターン

観察画面を前頭面からの咀嚼運動路表示に特化することで、咀嚼運動路の観察をシンプル化しました。咀嚼パターンについては、咀嚼側に応じた7つのパターン分類を挿入し、比較・観察することができます。

[右側]咀嚼運動時のパターン分類



[左側]咀嚼運動時のパターン分類



咀嚼能力検査装置

グルコセンサー GS-Ⅱ NEW

スターターキット 単品包装4種をひとつにまとめたセットです

寸法●幅54mm×奥行93mm×高さ16mm（スイッチの突起部を含まず）
単品●53g（電池を含まず）
包装●1函：グルコセンサー GS-Ⅱ 1函、GS-Ⅱ センサーチップ 1函、グルコラム 1函、咀嚼機能検査キット ろ過セット 1函

ジーシー グルコセンサー GS-Ⅱ 一般医療機器 特定保守管理医療機器　13B1X00155000268
発売元 株式会社 ジーシー 東京都文京区本郷3丁目2番14号
製造販売元 株式会社ジーシー 東京都板橋区蓮沼町76番1号

単品包装

グルコセンサー GS-Ⅱ
包装●1函：本体 1台、リチウム電池 1個、USBケーブル 1本、収納ケース 1個

咀嚼機能検査キット ろ過セットⅡ
包装●1函：ディスポーザブルろ過用メッシュ 50枚、ディスポーザブル採取用ブラシ 50本、計量カップ 1個

GS-Ⅱ センサー チップ
包装●1函：25枚入

グルコラム（グルコース含有グミ）
包装●1函：グミ15g入り×10袋

歯科用下顎運動測定器

モーションビジトレーナー V-1 有床義歯咀嚼機能検査システム NEW

包装●システム一式：装置本体 一式、USBケーブル 1本、ヘッドバンド 1個、ヘッドカメラ 一式、LEDアダプター（電池2個付）1個、シーネ 5個、歯牙用ターゲットLED 1個、皮膚用ターゲットLED 1個、皮膚用ターゲットLEDシール 50枚、ACアダプター 1個、電源ケーブル 1本、収納ケース（大・小）各1個、キャリーケース 1個、キャリーケース用鍵 2個、プログラムソフトCD 1枚

キャリーケース（鍵付）

モーションビジトレーナー V-1 管理医療機器 特定保守管理医療機器　222AFBZX00130000
販売元 株式会社 ジーシー 東京都文京区本郷3丁目2番14号
発売元 株式会社 東京歯材社 東京都台東区谷中2丁目5番20号
製造販売元 株式会社フジタ医科器械 東京都文京区本郷3丁目6番1号

単品包装● モーションビジトレーナー 歯牙用ターゲットLED 1個
モーションビジトレーナー 皮膚用ターゲットLED 1個
モーションビジトレーナー シーネ 5個
モーションビジトレーナー 皮膚用ターゲットLEDシール 50枚

皮膚用ターゲットLED

歯牙用ターゲットLED（シーネ装着時）

【仕様、環境条件、取扱注意事項】

項目	名称	仕様	備考
ターゲットLED	発光素子	赤外線LED（波長940nm）	下顎切歯部または下顎部にシーネまたは両面テープを使用して装着
	電源	単3電池2個　40mA	
ヘッドマウントカメラ	カメラ数量	2個	
	カメラケーブルの長さ	2m	
	レンズ開口部	φ5mm	
	検出器	2次元PSD	
	測定位置	ヘッドマウント	
		カメラ間隔　150mm	
		対LED距離　150mm	
ヘッドバンド	最大外形寸法	幅200mm×奥行450mm×高さ400mm	
	重量	500g	
装置本体	入力	4チャンネル×2	6PIN DINコネクタ
	AMP	高感度電流増幅器	
	出力コネクタ	USB 2.0 B型	
	出力電圧	0～5V DC 電圧出力	
	電源	ACアダプタ使用 DC12V	
	重量	2kg	
	外形寸法	幅250mm×奥行200mm×高さ80mm	電源アダプタ、突起部、ハンドル含まず
動作環境	形式	パーソナルコンピューター USB接続端子を2個以上備えたもの	付属しません
	OS	Windows7、8.1、10	
	入力	USB 2.0 準拠	

ご使用環境は、カメラのレンズに太陽光など赤外線を多く含む光が入らないように被験者とカメラの向きを考慮してご使用ください。光学測定装置なので照明や環境の明るさが測定中に変化しない安定した環境でお使いになることをお勧めいたします。

参考文献

・有床義歯装着者の咀嚼運動と咀嚼能力　日本歯科大学 生命歯学部 歯科補綴学第1講座 志賀 博 教授ら　日本全身咬合学会雑誌 第21巻 第2号 2015 別冊 P33-P38
・MKGによる下顎運動検査法　日本歯科大学 生命歯学部 歯科補綴学第1講座 志賀 博 教授ら　日本歯科理工学会誌 第34巻 第3号 2015年5月 P183-P186
・先進医療に導入されたチェアサイドで簡便に行える咀嚼機能検査　日本歯科大学 生命歯学部 歯科補綴学第1講座 志賀 博 教授、小林 義典 主任教授　東京都歯科医師会雑誌 第59巻 第9号 2011年9月 P479-P488

※掲載の測定の参考データは、2016年7月現在のものです。
※色調は印刷のため、現品と若干異なることがあります。
※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

ご使用に際しましては、必ず使用上の注意事項をお読みください。

発売元 株式会社 ジーシー　東京都文京区本郷3丁目2番14号
／ 製造販売元 株式会社 ジーシー　東京都板橋区蓮沼町76番1号
／ 製造販売元 株式会社フジタ医科器械　東京都文京区本郷3丁目6番1号

DIC（デンタルインフォメーションセンター）
お客様窓口 0120-416480
受付時間9:00a.m.～5:00p.m.（土曜日、日曜日、祭日を除く）
http://www.gcdental.co.jp

支　店
●東　京（03）3813-5751 ●大　阪（06）4790-7333
営業所
●北海道（011）729-2130 ●名古屋（052）757-5722
●東　北（022）207-3370 ●九　州（092）441-1286

MA024E1607